

文部科学省記者クラブ加盟各社 各位
京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

文部科学省 共同利用・研究利用拠点に認定された アート・リサーチセンターが「ARC Week 2015」を開催

立命館大学アート・リサーチセンター※「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」は、2014年度より文部科学省 共同利用・共同研究拠点に認定され、学術的レベルでの日本文化資源のデジタル・アーカイブを促進する拠点として、研究活動を行なっております。また、これまでに構築してきた海外における日本文化研究拠点との人的ネットワークを活用しながら、従来にない広がりを持つ研究コミュニティ創出に努めております。この度、本拠点の活動の一環として、下記の通り、『ARC Week 2015』を開催いたします。

第一部の「祇園祭デジタル・ミュージアム展 2015」では、2013年度・2014年度に続き、祇園祭の山鉾巡行の超高精細CG、巡行時の振動や音、懸装品の触感などを最先端バーチャルリアリティ技術で疑似体験できる「デジタル・ミュージアム」研究プロジェクトの作品を展示・一般公開します。

第二部の「国際シンポジウム」は、文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」が主催する、初の国際シンポジウムとなります。

第三部の「ワークショップ期間」では、本学のデジタル・アーカイブ技術の実演公開、データベース検索システムの開発実習など、これまで大学が蓄積してきた技術を研究者を対象として、公開いたします。

※立命館大学アート・リサーチセンター：私たち人類が持つ文化を後世に伝達するために、芸術、芸能、技術、技能を中心とした有形・無形の人間文化の所産を、歴史的、社会的観点から研究・分析し、記録・整理・保存・発信することを目的とし、1998年に設立。

記

企画名：ARC Week 2015 ※内容は別紙の通り

第一部：祇園祭デジタル・ミュージアム展 2015

日時：7月22日(水)～24日(金) 10:30-17:00 ※24日(金)は14:30まで

会場：京都文化博物館 別館ホール

第二部：国際シンポジウム

日時：7月25日(土) 13:00-17:25

会場：立命館大学 アート・リサーチセンター

対象：共同研究課題研究代表者・研究分担者、大学関係者、学生・院生等

第三部：ワークショップ期間

開催期間：7月26日(日)～28日(火)

会場：立命館大学アート・リサーチセンター

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 衣笠リサーチオフィス (担当：岡本、服部、池田) TEL:075-465-8476

広報課 (担当：池田) TEL.075-813-8300

別紙

第一部「祇園祭デジタル・ミュージアム展 2015」

2013 年度・2014 年度に続き、祇園祭の山鉦巡行の超高精細 CG、巡行時の振動や音、懸装品の触感などを最先端バーチャルリアリティ技術で疑似体験できる「デジタル・ミュージアム」研究プロジェクトの作品を展示・一般公開します。また、日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点を含め、アート・リサーチセンターの研究活動の紹介、研究成果も一般公開いたします。

日時：7月22日（水）～24日（金）10:30-17:00 ※24日（金）は14:30 まで

会場：京都文化博物館 別館ホール

主催：立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学情報理工学部

協賛：株式会社フォーラムエイト、株式会社キャドセンター

協力：公益財団法人 祇園祭船鉦保存会、公益財団法人 四条町大船鉦保存会

展示内容

- 振動台によるバーチャル山鉦巡行体験システム
- 現在、過去、未来の山鉦巡行のバーチャル復原
- 世界の美術館・博物館が所蔵する浮世絵の横断検索システム
- 船鉦の構造を「透視」する
- 京都の歴史的な町空間を3D ゲーム気分で探索
- 仮想世界による日本文化体験ゲーム
- 薪能における能装束の光と影のゆらめき再現
- 巡行経路連動型祇園囃子体験システム
- 共同研究課題ポスター展示・DVD 上映

第二部「国際シンポジウム」

日時：7月25日（土）13:00-17:25

会場：立命館大学 アート・リサーチセンター

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

内容：

- 12:30 開場・受付開始
- 13:00 開会挨拶 立命館大学アート・リサーチセンター センター長 矢野桂司
- 13:05 基調講演 チューリッヒ大学 教授 Hans Thomsen
- 13:45 ポスターセッション
- 14:10 休憩

研究発表会

- 14:20 ①「近代京都の市街地の形成と建築様式・用途との関連性に関する研究」
研究代表者：京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 大場修
- 14:40 ②「東南アジアの舞踊のドキュメンテーションとデジタル・アーカイブ研究」
研究代表者：お茶の水女子大学基幹研究院 准教授 中村美奈子
- 15:00 ③「中世語彙画像対照データベースの構築に関する基礎研究」
研究代表者：カルガリー大学 教授 X. Jie YANG
- 15:20 休憩
- 15:40 ④「京都盆地を対象にした文化資源デジタル・コンテンツの利活用と流通を促進するプラットフォーム構築」
研究代表者：凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 奥窪宏太
- 16:00 ⑤「浮世絵データベースシステムを応用した浮世絵の新研究」
研究代表者：立命館大学衣笠総合研究機構 客員研究員 岩切友里子

- 16:20 ⑥「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」
研究代表者：徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 塚本章宏
- 16:40 ⑦「演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究」
研究代表者：公益財団法人 松竹大谷図書館 武藤祥子
- 17:00 ⑧「富本憲吉とバーナード・リーチ往復書簡の研究—京都市立芸術大学所蔵資料を中心に」
研究代表者：京都市立芸術大学 准教授 森野彰人
- 17:20 閉会挨拶 立命館大学 教授 赤間亮

第三部「ワークショップ期間」

開催期間：7月26日（日）～28日（火）

会場：立命館大学アート・リサーチセンター

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

内容：

- 「 SfM-MVS による文化遺産の3次元記録とその活用」※1 発表者：山口欧志
- 「 PHP によるデータベース検索システム開発実習」※2 発表者：山路正憲
- 「 演劇上演記録データベースを応用した蔵書管理システムの運用事例」 発表者：井川繭子
- 「 画題研究会」発表者：赤間亮、中村恵美、Kazuko Kameda-Mardar、Shalmit Bejarano
- 「 『バーチャル京都』のプラットフォーム活用に関する意見交換」発表者：奥窪宏太、大場修、塚本章宏
- 「 モーションキャプチャー」 発表者：八村広三郎
- 「 光学顕微鏡でみる浮世絵の世界（技術実習）」 課題代表者：南川丈夫
- 「 研究課題『デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用』ワークショップ」
発表者：長崎巖、青木美保子、木立雅朗、鈴木桂子、山本真紗子
- 「 デジタル風俗画の比較研究」 発表者：奥窪宏太、川嶋将生、西山剛

※1 パソコン、デジタルカメラ、SDカード、あれば三脚をご持参ください

※2 パソコンをご持参ください